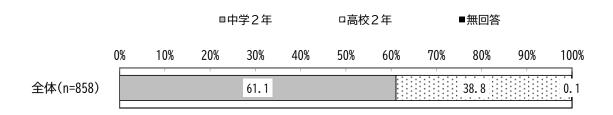
# 第3章 調査結果(中高生)

# 1. 回答者の属性

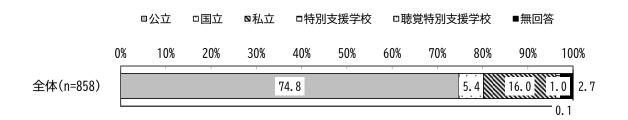
## (1) 学年

図表-55 学年



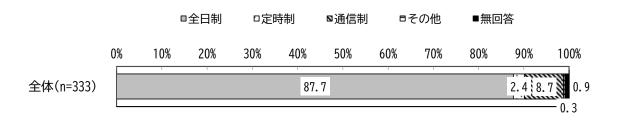
## (2) 学校種別

図表-56 学校種別



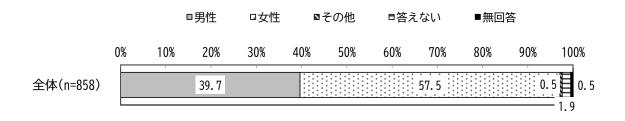
### (3)課程(高校生のみ)

図表-57 課程



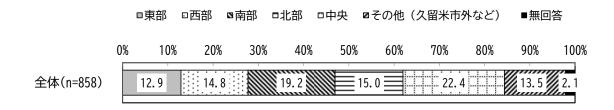
### (4)性別

図表一58 性別



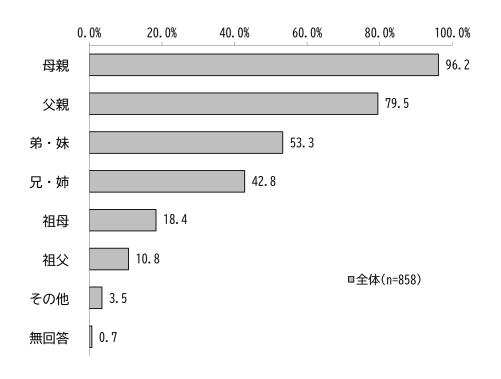
## (5)居住地

図表一59 居住地



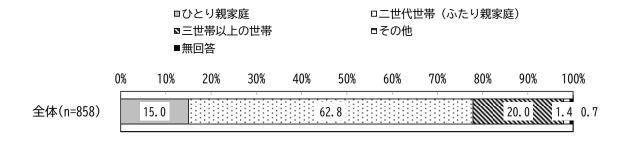
## (6) 同居家族

図表一60 同居家族



### (7) 家族構成

図表一61 家族構成



# 2. 健康状態

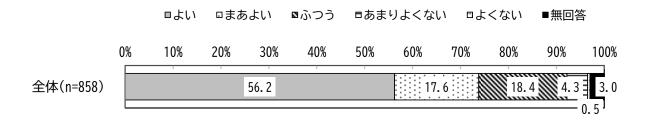
### 問7 あなたの健康状態について教えてください。

健康状態について聞いたところ、「よい」(56.2%)の割合が最も高く、次いで「ふつう」(18.4%)、「まあよい」(17.6%) となっている。

学年別にみると、中学2年生の方が「よい」(57.3%)、「まあよい」(18.5%)の割合が高い傾向 にある。

性別にみると、男性の方が女性と比べて「よい」(65.4%)の割合が高くなっている。 家族の世話別にみると、家族の世話をしている人の方が「よい」(40.4%)の割合が低くなっている。

## 図表-62 健康状態



図表 63 学年、性別、家族の世話別 健康状態

								単位:%
		調査数	こみ	まあよい	ふつう	あまりよくない	よくない	無回答
全	体	858	56.2	17.6	18.4	4.3	0.5	3.0
774	中学2年	524	57.3	18.5	15.8	3.6	_	4.8
学 年	高校2年	333	54.7	15.9	22.5	5.4	1.2	0.3
'	無回答	1	1	100.0	_	_	_	_
	男性	341	65.4	15.5	12.3	3.8	-	2.9
.144	女性	493	51.5	18.7	21. 7	4.3	0.8	3.0
性 別	その他	4	50.0	-	50.0	_	-	_
/33	答えない	16	12.5	31.3	31.3	18.8	_	6.3
	無回答	4	25.0	25.0	50.0	-	-	
家	している	47	40.4	17.0	21.3	8.5	-	12.8
世 家 話 の	していない	798	57.5	17.7	18.4	4.0	0.5	1.9
111 (1)	無回答	13	30.8	15.4	7. 7	7.7	-	38.5

# 3. 欠席状況

## 問8(1) あなたの欠席の状況(病気の場合を除く)について教えてください。

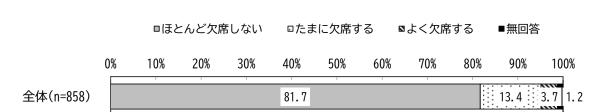
欠席状況について聞いたところ、「ほとんど欠席しない」(81.7%)の割合が最も高く、次いで「たまに欠席する」(13.4%)、「よく欠席する」(3.7%)となっている。

学年別にみると、高校2年生の方が欠席する傾向にある。

性別にみると、女性の方が男性と比べて欠席する傾向にある。

家族構成別にみると、ひとり親家庭において「ほとんど欠席しない」(73.6%)の割合が低くなっている。

家族の世話別にみると、家族の世話をしている人の方が欠席する傾向にある。



図表一64 欠席状況

図表-65 学年、性別、家族構成、家族の世話別 欠席状況

						単位:%
		調査数	ほとんど欠席しない	たまに欠席する	よく欠席する	無回答
全	体	858	81.7	13.4	3.7	1.2
334	中学2年	524	83.4	11.3	4.0	1.3
学年	高校2年	333	79.0	16.8	3.3	0.9
	無回答	1	100.0	-	1	_
	男性	341	85.6	11.1	2.6	0.6
.huL	女性	493	79.7	14.6	4.3	1.4
性 別	その他	4	75.0	25.0	_	-
,33	答えない	16	62.5	18.8	12.5	6.3
	無回答	4	75.0	25.0	-	-
	ひとり親家庭	129	73.6	20.2	4.7	1.6
家族構造	二世代世帯(ふたり親家庭)	539	83.5	11.7	3.9	0.9
族 構	三世代以上の世帯	172	83.1	12.8	2.9	1.2
成	その他	12	83.3	16.7	_	_
	無回答	6	50.0	33.3	-	16.7
业家	している	47	76.6	10.6	6.4	6.4
世話 の	していない	798	82.3	13.7	3.6	0.4
()	無回答	13	61.5	7.7	-	30.8

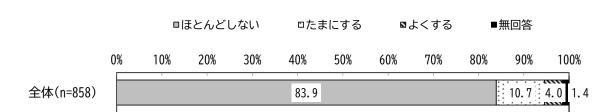
# 4. 遅刻・早退状況

## 問8(2) あなたの遅刻や早退の状況(病気の場合を除く)について教えてください。

遅刻・早退状況について聞いたところ、「ほとんどしない」(83.9%)の割合が最も高く、次いで「たまにする」(10.7%)、「よくする」(4.0%)となっている。

性別にみると、女性の方が男性と比べて「たまにする」(12.6%)の割合が高くなっている。 家族構成別にみると、ひとり親家庭において「ほとんどしない」(78.3%)の割合が低くなっている。

家族の世話別にみると、家族の世話をしている人の方が遅刻・早退をする傾向にある。 学年別には、大きな差は見られない。



図表一66 遅刻・早退状況

図表一67 学年、性別、家族構成、家族の世話別 遅刻・早退状況

						単位:%
		調査数	ほとんどしない	たまにする	よくする	無回答
全	体	858	83.9	10.7	4.0	1.4
334	中学2年	524	84.0	10.1	4.0	1.9
学年	高校2年	333	83.8	11.7	3.9	0.6
•	無回答	1	100.0	-	ı	-
	男性	341	86.5	7.9	4.4	1. 2
.kuL	女性	493	83.0	12.6	3. 2	1. 2
性 別	その他	4	100.0	-	_	-
,,,,	答えない	16	56.3	18.8	18.8	6.3
	無回答	4	75.0	-	ı	25.0
	ひとり親家庭	129	78.3	14.7	6.2	0.8
家	二世代世帯(ふたり親家庭)	539	86.6	8.9	3. 2	1.3
家族構成	三世代以上の世帯	172	80.2	13.4	5.2	1.2
成	その他	12	91.7	8.3	-	-
	無回答	6	50.0	16.7	-	33. 3
家	している	47	74.5	8.5	10.6	6.4
世 話 の	していない	798	85.0	10.9	3.5	0.6
<sup>11</sup> ()	無回答	13	53.8	7.7	7.7	30.8

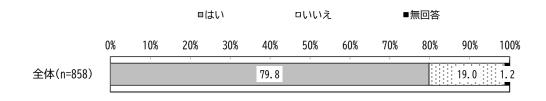
# 5. 学校外の活動の参加状況

## 問9 部活動(学校外での活動を含む)や習い事をしていますか。

学校外の活動の参加状況について聞いたところ、「はい」が79.8%、「いいえ」が19.0%となっている。

学年別にみると、中学2年生の方が「はい」(86.1%)の割合が高くなっている。 家族構成別にみると、ひとり親家庭において「いいえ」(26.4%)の割合が高くなっている。 自身の権利別にみると、守られている人の方が「はい」(84.1%)の割合が高くなっている。 家族の世話別にみると、世話をしている人の方が「いいえ」(25.5%)の割合が高くなっている。 性別には、大きな差は見られない。

図表-68 学校外の活動の参加状況



図表-69 学年、性別、家族構成、自身の権利、家族の世話別 学校外の活動の参加状況

					里位:%
		調査数	ぐみ	いいえ	無回答
全	 体	858	79.8	19.0	1.2
	中学2年	524	86.1	12.4	1.5
学年	高校2年	333	70.0	29.4	0.6
'	無回答	1	100.0	-	-
	男性	341	81.2	18. 2	0.6
.,,	女性	493	79.3	19.5	1.2
性 別	その他	4	75.0	25.0	-
,,,,	答えない	16	75.0	18.8	6.3
	無回答	4	50.0	25.0	25.0
	ひとり親家庭	129	72.9	26.4	0.8
家	二世代世帯(ふたり親家庭)	539	81.6	17.4	0.9
家族構造	三世代以上の世帯	172	80.8	18.0	1.2
成	その他	12	66.7	33.3	-
	無回答	6	66.7	-	33.3
	守られている	610	84.1	14.9	1.0
自	だいたい守られている	176	78.4	21.6	ı
自身の	あまり守られていない	10	30.0	70.0	ı
権	守られていない	4	-	100.0	-
利	わからない	33	51.5	48.5	ı
	無回答	25	56.0	28.0	16.0
家	している	47	68.1	25.5	6.4
世 話 の	していない	798	81.0	18.7	0.4
<sup>21</sup> ())	無回答	13	53.8	15.4	30.8

# 6. 学校生活であてはまるもの

## 問10 普段の学校生活であてはまるものはありますか。

学校生活であてはまるものについて聞いたところ、「特にない」(54.0%)の割合が最も高くなっている。「特にない」を除くと、「授業中に居眠りすることが多い」(20.5%)、「宿題や課題ができていないことが多い」(15.0%)、「提出しなければいけない書類などの提出が遅れることが多い」(13.2%)の順となっている。

0.0% 20.0% 40.0% 60.0% 80.0% 100.0% 授業中に居眠りすることが多い 20.5 宿題や課題ができて 15.0 いないことが多い 提出しなければいけない書類 13.2 などの提出が遅れることが多い 持ち物の忘れ物が多い 11.0 友人と遊んだり、おしゃべり 6.9 したりする時間が少ない 6.1 学校では1人で過ごすことが多い 部活動や習い事を休むことが多い 5.7 保健室で過ごすことが多い 1.6 家のことが気になって 落ち着けないことが多い 1.0 □全体(n=858) 修学旅行などの 宿泊行事を欠席する 0.9 54.0 特にない 4.1 無回答

図表-70 学校生活であてはまるもの

学校生活であてはまるものについて学年別にみると、中学2年生の方が高校2年生と比べて「特にない」(56.3%)の割合が高くなっている。また、高校2年生では「授業中に居眠りすることが多い」(29.1%)の割合が高くなっている。

性別にみると、男性では「持ち物の忘れ物が多い」(13.8%)、「提出しなければいけない書類などの提出が遅れることが多い」(17.0%)の割合が高くなっている。一方で女性では「授業中に居眠りすることが多い」(22.7%)の割合が高くなっている。

家族構成別にみると、二世帯世帯(ふたり親家庭)において「特にない」(58.3%)の割合が高くなっている。また、ひとり親家庭と三世代以上の世帯では「授業中に居眠りすることが多い」、「宿題や課題ができていないことが多い」、「持ち物の忘れ物が多い」、「提出しなければいけない書類などの提出が遅れることが多い」の割合が高くなっており、ひとり親家庭では上記に加えて「部活動や習い事を休むことが多い」の割合も高くなっている。

家族の世話別にみると、家族の世話をしている人の方が「宿題や課題ができていないことが多い」、「持ち物の忘れ物が多い」、「提出しなければいけない書類などの提出が遅れることが多い」の割合が高くなっている。一方で家族の世話をしていない人では「授業中に居眠りすることが多い」、「部活動や習い事を休むことが多い」の割合が高くなっている。

図表-71 学年、性別、家族構成、家族の世話別 学校生活であてはまるもの

		調査数	多い 授業中に居眠りすることが	ことが多い宿題や課題ができていない	持ち物の忘れ物が多い	が多い部活動や習い事を休むこと	が多い類などの提出が遅れること提出しなければいけない書	欠席する 修学旅行などの宿泊行事を	保健室で過ごすことが多い	が多いが多いで過ごすこと	りしたりする時間が少ない友人と遊んだり、おしゃべ	着けないことが多い家のことが気になって落ち	特にない	無回答
全	体	858	20.5	15.0	11.0	5.7	13.2	0.9	1.6	6.1	6.9	1.0	54.0	4. 1
224	中学2年	524	15.1	16.2	12.6	5.7	14.1	0.8	1.7	5.2	5.7	0.2	56.3	5.3
学年	高校2年	333	29.1	13. 2	8.4	5.7	11.7	1.2	1.5	7.5	8.7	2.4	50.2	2. 1
	無回答	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-
	男性	341	16.7	17. 6	13.8	4.1	17.0	1.5	0.6	4.4	7.6	0.6	52.8	4. 1
	女性	493	22.7	13. 2	8.3	6.5	10.3	0.6	2. 4	6.3	5.1	1.2	56.0	3. 7
性 別	その他	4	-	-	25.0	-	-	-	-	75.0	75.0	-	25.0	-
,,,,	答えない	16	43.8	25.0	31.3	18.8	25.0	-	-	18.8	31.3	6.3	25.0	6.3
	無回答	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	50.0	50.0
	ひとり親家庭	129	24.0	22.5	14.7	9.3	20.9	1.6	2. 3	5.4	7.8	2.3	48. 1	2.3
家	二世代世帯(ふたり親家庭)	539	18.2	11.5	9.3	4.8	9.6	1.1	1.1	5.6	6.5	0.9	58.3	4. 1
家族構成	三世代以上の世帯	172	25.0	20.3	14.0	6.4	18.6	-	2. 9	7.6	7.0	0.6	45.3	4. 7
成	その他	12	33.3	16.7	8.3	_	16.7	_	-	1	-	-	58.3	_
	無回答	6	-	16.7	-	-	-	_	-	33.3	33.3	-	33. 3	33.3
业家	している	47	12.8	21.3	14.9	_	21.3	_	2. 1	6.4	8.5	2. 1	53. 2	6. 4
世話の	していない	798	20.9	14. 7	10.8	6.0	12.7	1.0	1.6	6.1	6.9	1.0	54. 4	3.5
()	無回答	13	23.1	15.4	7.7	7.7	15.4	-	-	-	-	-	30.8	30.8

# 7. 悩んでいること

## 問11 現在、悩んだり困ったりしていることはありますか。

悩んでいることについて聞いたところ、「特にない」(43.6%)の割合が最も高くなっている。「特にない」を除くと、「学業成績のこと」(33.1%)、「進路のこと」(32.9%)、「友人との関係のこと」(15.3%)の順となっている。

0.0% 20.0% 40.0% 60.0% 80.0% 100.0% 33.1 学業成績のこと 32.9 進路のこと 友人との関係のこと 15.3 部活動のこと 9.7 学費など学校生活に 5.7 必要なお金のこと 5.4 家庭の経済的状況のこと 家族内の人間関係のこと 4.7 (両親の仲が良くないなど) 自分のために使える 時間が少ないこと 4.3 自分と家族との関係のこと 3.7 塾(通信含む)や習い事のこと 2.7 (行きたくても行けないなど) □全体(n=858) 病気や障害のある家族のこと 2.0 2.3 その他 特にない 43.6 無回答 3.4

図表-72 悩んでいること

悩んでいることについて学年別にみると、中学2年生の方が「特にない」(46.2%)の割合が高くなっている。

性別にみると、男性の方が女性と比べて「特にない」(53.7%)の割合が高くなっている。また、女性では「その他」と「特にない」を除くすべての項目において男性よりも割合が高くなっている。

家族構成別にみると、ひとり親家庭と三世代以上の世帯では「進路のこと」、「自分と家族との関係のこと」の割合が高くなっており、ひとり親家庭では上記に加えて「家庭の経済的状況のこと」、「家族内の人間関係のこと」の割合も高くなっている。

自身の権利別にみると、守られている人において「特にない」(47.9%)の割合が高くなっている。また、だいたい守られている人では「特にない」を除くすべての項目において守られている人よりも割合が高くなっている。

家族の世話別にみると、家族の世話をしている人の方が「特にない」(29.8%)の割合が低くなっている。また、家族の世話をしている人では「友人との関係のこと」(21.3%)、「学業成績のこと」(48.9%)、「進路のこと」(44.7%)、「病気や障害のある家族のこと」(8.5%)の割合が高くなっている。

図表-73 学年、性別、家族構成、自身の権利、家族の世話別 悩んでいること

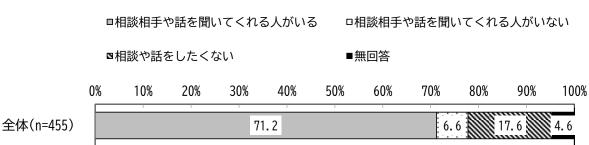
単位:% と病 気 や 家庭の いなど)では、 自分と家族との ( ) 下 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 人との **灬回答** 一路の 金のこと ん な の 調査数 業成績のこと 活動 、障害の こたとめに の 経済的状況の Jと J学校生活に必要な きた) 関係の 仲人 が間 良関 ある家族のこ てや く係なの 行け事の 全 体 858 15.3 33. 1 32.9 9.7 5.7 2.7 5.4 3.7 4.7 2.0 4.3 2.3 43.6 3.4 中学2年 524 2.9 4.0 15.1 34.0 25.6 10.3 2.9 2.7 3. 2 1.7 46.2 1.7 2.1 高校2年 333 15.6 31.8 44.4 10.2 4.2 9.3 6.9 2.4 8.7 39.3 2.4 無回答 100.0 男性 341 7.6 25.2 24.3 6.2 3.5 1.8 1.8 1.8 4.7 493 4.9 2.4 女性 20.1 37.9 38.9 12.2 6.9 3.7 7.3 6.1 2.0 5.9 2.0 37.3 その他 25.0 12.5 12.5 答えない 16 25.0 31.3 12.5 6.3 6.3 6.3 50.0 6.3 6.3 25 0 6.3 25.0 25.0 ひとり親家庭 39.5 3.1 0.8 129 15.5 34 1 13.2 93 3.1 14.7 7 0 9.3 7 8 0.8 45 7 二世代世帯(ふたり親家庭) 539 13.2 32.5 31.2 0.9 3.7 三世代以上の世帯 172 34.3 9.9 7. 0 3. 5 5.8 4.7 3. 5 19.8 34.9 4.1 41.3 4.1 その他 25.0 25.0 25.0 8.3 8.3 8.3 25.0 8.3 58. 3 12 8.3 8.3 33.3 無回答 50.0 33.3 16.7 16.7 33.3 16.7 16.7 守られている 610 11.3 30.5 29.3 3.8 2.5 1.0 2.6 1.0 2.0 1.5 3.1 3.1 だいたい守られている 176 25.0 45.5 13.1 10.2 5.7 1.7 あまり守られていない 10 40.0 50.0 60.0 10.0 30.0 10.0 40.0 40.0 50.0 30.0 10.0 守られていない 100.0 75.0 50.0 50.0 50.0 75.0 50.0 50.0 25.0 わからない 33 21.2 12.1 15.2 9.1 3.0 54.5 24.2 21.2 3.0 9.1 6.1 9.1 6.1 無回答 25 20.0 28.0 8.0 40.0 28.0 8.0 している 44.7 6.4 4.3 8.5 4.3 8.5 47 21.3 48.9 8. 5 2.1 8. 5 2.1 29.8 していない 798 32.3 32.5 9.8 2.5 5.3 2.4 15.0 6.0 3.6 4.8 1.6 4.3 2.4 44.6 無回答 13 23. 1 15.4 7.7 30.8 46.2

# 8. 悩みについて話を聞いてくれる人がいるか

問12 問11で回答した悩みや困りごとについて、相談にのってくれたり、話を聞いてくれる人がい ますか。

悩んでいることがあると回答した人に、悩みについて話を聞いてくれる人がいるかについて聞い たところ、「相談相手や話を聞いてくれる人がいる」が71.2%、「相談相手や話を聞いてくれる人が いない」が6.6%、「相談や話をしたくない」が17.6%となっている。

図表 - 74 悩みについて話を聞いてくれる人がいるか



悩みについて話を聞いてくれる人がいるかについて学年別にみると、中学2年生の方が「相談や話をしたくない」(19.2%)の割合が高くなっている。また、高校2年生の方が「相談相手や話を聞いてくれる人がいない」(9.3%)の割合が高くなっている。

性別にみると、女性の方が「相談や話をしたくない」(18.9%)の割合が高くなっている。 家族構成別にみると、ひとり親家庭では「相談や話をしたくない」(24.6%)の割合が高くなっている。

自身の権利別にみると、守られている人において「相談相手や話を聞いてくれる人がいる」 (76.3%)の割合が高くなっている。また、だいたい守られている人では「相談相手や話を聞い てくれる人がいない」(10.1%)と「相談や話をしたくない」(18.5%)の割合が高くなってい る。

図表-75 学年、性別、家族構成、自身の権利、家族の世話別 悩みについて話を聞いてくれる人がいるか

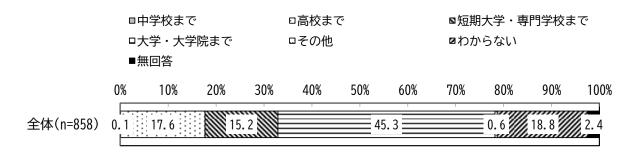
		調査数	る人がいる相談相手や話を聞いてくれ	る人がいない相談相手や話を聞いてくれ	相談や話をしたくない	無回答
全	体	455	71.2	6.6	17.6	4.6
224	中学2年	261	70.1	4.6	19.2	6.1
学年	高校2年	194	72.7	9.3	15.5	2.6
	無回答	-	-	_	-	_
	男性	142	73.9	7.0	12.7	6.3
h4L	女性	297	71.0	6.7	18.9	3.4
性 別	その他	3	33.3	1	66.7	-
""	答えない	11	54.5	-	36.4	9.1
	無回答	2	50.0	_	-	50.0
	ひとり親家庭	69	69.6	5.8	24.6	-
家	二世代世帯(ふたり親家庭)	283	72.8	6.4	16.6	4. 2
家族構成	三世代以上の世帯	94	68.1	7.4	17.0	7.4
成	その他	5	80.0	20.0	1	-
	無回答	4	50.0	1	I	50.0
	守られている	299	76.3	3.3	15.1	5.4
自	だいたい守られている	119	68.1	10.1	18.5	3.4
身の	あまり守られていない	10	30.0	50.0	20.0	-
自身の権	守られていない	4	25.0	50.0	25.0	_
利	わからない	15	40.0	_	53.3	6.7
	無回答	8	62.5	12.5	25.0	-
家	している	29	69.0	6.9	24. 1	-
世家 話の	していない	423	71.2	6.6	17.3	5.0
"" ()	無回答	3	100.0	-	ı	

## 9. 進路希望

#### 問13 進路希望についておたずねします。あなたは将来どの学校まで行きたいと思いますか。

進路希望について聞いたところ、「大学・大学院まで」の割合が45.3%と最も高く、次いで「わからない」(18.8%)、「高校まで」(17.6%)となっている。

図表一76 進路希望



進路希望について学年別にみると、中学2年生の方が「高校まで」(19.7%)と「わからない」(21.8%)の割合が高くなっている。また、高校2年生の方が「大学・大学院まで」(51.4%)の割合が高くなっている。

性別にみると、男性の方が「高校まで」(22.0%)の割合が高く、女性の方が「短期大学・専門学校まで」(19.5%)の割合が高くなっている。

居住地別にみると、西部では「高校まで」(28.3%)の割合が高くなっている。また、中央では「大学・大学院まで」(60.9%)の割合が高くなっている。

家族構成別にみると、ひとり親家庭では「高校まで」(25.6%)と「わからない」(23.3%)の割合が高くなっている。三世代以上の世帯では「短期大学・専門学校まで」(19.8%)の割合が高くなっている。二世代世帯(ふたり親家庭)では「大学・大学院まで」(49.9%)の割合が高くなっている。

自身の権利別にみると、守られている人において「大学・大学院まで」(48.7%)の割合が高くなっている。

家族の世話別にみると、家族の世話をしている人の方が「高校まで」(27.7%)の割合が高く、 家族の世話をしていない人の方が「短期大学・専門学校まで」(15.7%)と「大学・大学院まで」 (46.0%)の割合が高くなっている。

図表-77 学年、性別、居住地、家族構成、自身の権利、家族の世話別 進路希望

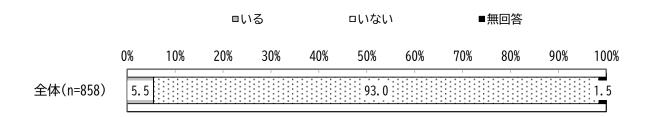
									単位:%
		調査数	中学校まで	高校まで	短期大学・専門学校まで	大学・大学院まで	その他	わからない	無回答
全	 体	858	0.1	17. 6	15. 2	45.3	0.6	18.8	2.4
	中学2年	524	0.2	19.7	13.7	41.4	0.4	21.8	2.9
学年	高校2年	333	-	14.4	17.4	51.4	0.9	14.1	1.8
	無回答	1	-	-	-	100.0	-	-	_
	男性	341	0.3	22.0	8.5	44.3	0.6	20.8	3.5
	女性	493	-	14.8	19.5	45.4	0.6	18.1	1.6
性 別	その他	4	-	25.0	-	75.0	-	-	_
נינו	答えない	16	-	12.5	18.8	56.3	-	6.3	6.3
	無回答	4	-	-	50.0	50.0	-	-	_
	東部	111	-	18.0	17.1	36.0	0.9	26.1	1.8
	西部	127	-	28.3	15.7	30.7	-	21.3	3.9
屋	南部	165	0.6	18.2	13.3	41.8	1.2	21.2	3.6
居住地	北部	129	-	20.2	17.8	38.0	0.8	20.9	2.3
地	中央	192	-	9.9	15.1	60.9	-	13.0	1.0
	その他 (久留米市外など)	116	-	13.8	12.1	59.5	0.9	12.9	0.9
	無回答	18	-	22.2	16.7	33.3	-	16.7	11.1
	ひとり親家庭	129	-	25.6	15.5	35.7	-	23.3	-
家	二世代世帯(ふたり親家庭)	539	0.2	15.4	13.4	49.9	0.7	17.6	2.8
家族構成	三世代以上の世帯	172	-	19.8	19.8	39.5	0.6	17.4	2.9
成	その他	12	-	8.3	25.0	16.7	-	50.0	_
	無回答	6	_	-	16.7	66.7	-	-	16.7
	守られている	610	0.2	16.1	15.2	48.7	0.3	17.5	2.0
自	だいたい守られている	176	-	19.3	18.2	44.3	0.6	15.3	2.3
身の	あまり守られていない	10	_	20.0	_	10.0	10.0	60.0	_
権	守られていない	4	_	50.0	_	50.0	-	-	_
利	わからない	33	_	30.3	9.1	6.1	3.0	51.5	_
	無回答	25	_	20.0	8.0	36.0	_	16.0	20.0
山家	している	47	_	27.7	10.6	36. 2	_	14.9	10.6
世族の	していない	798	0.1	17.3	15.7	46.0	0.6	18.9	1.4
()	無回答	13	_	_	_	38.5	-	23. 1	38.5

# 10. 世話をしている家族の有無

問14 家族の中にあなたがお世話をしている方はいますか。(ここで「お世話」とは本来、大人がすると考えられる食事のしたく、洗たくなどの家事や家族のお世話などを日常的にすることです。)

世話をしている家族の有無について聞いたところ、「いる」が5.5%、「いない」が93.0%となっている。

図表-78 世話をしている家族の有無



世話をしている家族の有無について学年別にみると、「いる」の割合は中学2年生で6.3%、高校2年生で4.2%となっている。

性別にみると、「いる」の割合は男性で4.1%、女子で6.5%となっている。

居住地別にみると、「いる」の割合は東部(7.2%)が最も高くなっている。

家族構成別にみると、「いる」の割合はひとり親家庭(9.3%)が最も高くなっている。

自身の権利別には、大きな差は見られない。

図表 - 79 学年、性別、居住地、家族構成、自身の権利別 世話をしている家族の有無 単位:%

		調査数	いる	いない	無回答
<u></u> 全	体	858	5.5	93.0	1.5
	中学2年	524	6.3	91.6	2.1
学 年	高校2年	333	4. 2	95. 2	0.6
牛	無回答	1	-	100.0	-
	男性	341	4. 1	94. 4	1.5
	女性	493	6.5	92.1	1.4
性 別	<u>そ</u> の他	4	-	100.0	_
נימ	答えない	16	6.3	87.5	6.3
	無回答	4	_	100.0	_
	東部	111	7. 2	91.9	0.9
	西部	127	4. 7	95.3	-
屋	南部	165	5.5	92.1	2.4
居住地	北部	129	6.2	93.0	0.8
地	中央	192	6.3	91.1	2.6
	その他(久留米市外など)	116	2.6	97.4	_
	無回答	18	5.6	83.3	11.1
	ひとり親家庭	129	9.3	89.9	0.8
家	二世代世帯(ふたり親家庭)	539	4. 1	94.6	1.3
家族構成	三世代以上の世帯	172	6.4	91.3	2.3
成	その他	12	16.7	83.3	_
	無回答	6	-	83.3	16.7
	守られている	610	4.8	93.9	1.3
自	だいたい守られている	176	5.1	93.8	1.1
自身の権	あまり守られていない	10	_	100.0	_
権	守られていない	4	_	100.0	_
利	わからない	33	3.0	97.0	_
	無回答	25	32.0	56.0	12.0

# 11. 誰の世話をしているか

### 問15(1) お世話をしている方

家族の世話をしていると回答した人に、誰の世話をしているかについて聞いたところ、「母親」 (55.3%)、「きょうだい」(31.9%)、「父親」(25.5%)の順となっている。

0.0% 20.0% 40.0% 60.0% 80.0% 100.0% 母親 55.3 きょうだい 31.9 25.5 父親 祖母 8.5 祖父 □全体(n=47) 4.3 その他 無回答 17.0

図表-80 誰の世話をしているか

図表-81 学年、性別、家族構成別 誰の世話をしているか

単位:% 祖父 その他 きょうだい 心回答 調査数 全 体 47 55.3 25.5 8.5 31.9 4.3 17.0 中学2年 33 48.5 27.3 6.1 27.3 6.1 21.2 高校2年 14 71.4 21.4 14.3 42.9 7.1 無回答 男性 14 71.4 42.9 14.3 14.3 7.1 32 12.5 女性 50.0 18.8 37.5 21.9 その他 100.0 答えない 無回答 ひとり親家庭 12 75.0 16.7 33.3 8.3 8.3 二世代世帯(ふたり親家庭) 22 45.5 31.8 27.3 36.4 三世代以上の世帯 11 27.3 18.2 27.3 63.6 9.1 9.1 その他 2 50.0 50.0 無回答

# 12. 母親・父親の状態

問15(2)① 母親、父親をお世話している人にお聞きします。それはどのような理由ですか。

母親・父親の世話をしていると回答した人に、母親・父親の状態について聞いたところ、「仕事が忙しく、つかれている」(40.7%)、「精神科の病気」(7.4%)の順となっている。

0.0% 20.0% 40.0% 60.0% 80.0% 100.0% 仕事が忙しく、つかれている 40.7 7.4 精神科の病気 高齢(65歳以上) 3.7 介護(食事や身の回りの 3.7 世話) が必要 3.7 認知症 3.7 身体障害 知的障害 3.7 お酒やギャンブルの問題がある 3.7 日本語が苦手 3.7 精神科、依存症以外の病気 母親が妊娠中・乳幼児がいる □全体(n=27) その他 7.4 7.4 わからない 37.0 無回答

図表-82 母親・父親の状態

# 13. 祖母・祖父の状態

問15(2)② 祖母、祖父をお世話している人にお聞きします。それはどのような理由ですか。

祖母・祖父の世話をしていると回答した人に、祖母・祖父の状態について聞いたところ、「介護(食事や身の回りの世話)が必要」(50.0%)、「高齢(65歳以上)」(25.0%)の順となっている。

0.0% 20.0% 40.0% 60.0% 80.0% 100.0% 介護(食事や身の回りの 世話)が必要 50.0 25.0 高齢(65歳以上) 認知症 身体障害 知的障害 精神科の病気 お酒やギャンブルの問題がある 精神科、依存症以外の病気 日本語が苦手 □全体(n=4) その他 わからない 50.0 無回答

図表-83 祖母・祖父の状態

# 14. きょうだいの状態

問15(2)③ きょうだいをお世話している人にお聞きします。それはどのような理由ですか。

きょうだいの世話をしていると回答した人に、きょうだいの状態について聞いたところ、「幼い」 (40.0%)、「わからない」(20.0%)、「知的障害」と「その他」(ともに13.3%) の順となっている。

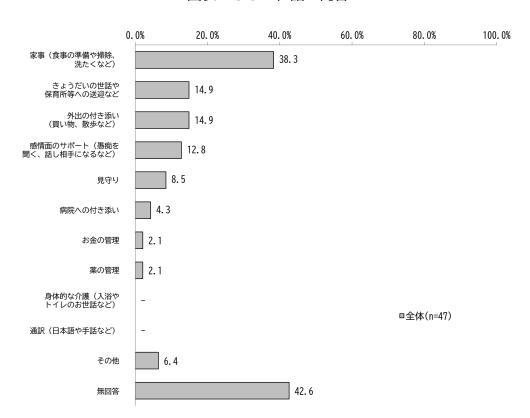
0.0% 20.0% 40.0% 60.0% 80.0% 100.0% 40.0 幼い 知的障害 13.3 6.7 身体障害 6.7 日本語が苦手 介護(食事や身の回りの お世話)が必要 病気 13.3 その他 □全体(n=15) 20.0 わからない 無回答 13.3

図表-84 きょうだいの状態

# 15. 世話の内容

## 問15(3) あなたがしているお世話の内容を教えてください。

家族の世話をしていると回答した人に、世話の内容について聞いたところ、「家事(食事の準備や掃除、洗たくなど)」(38.3%)、「きょうだいの世話や保育所等への送迎など」と「外出の付き添い(買い物、散歩など)」(ともに14.9%)の順となっている。



図表 - 85 世話の内容

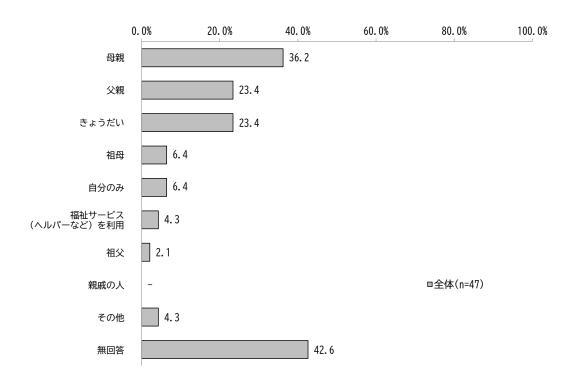
図表-86 学年、性別、家族構成別 世話の内容

				—	1 - 2 1 3									
														単位:%
		調査数	洗たくなど)	等への送迎などきょうだいの世話や保育所	レのお世話など) 身体的な介護(入浴やトイ	散歩など)外出の付き添い(買い物、	病院への付き添い	ど) 聞く、話し相手になるな 感情面のサポート (愚痴を	見守り	通訳(日本語や手話など)	お金の管理	薬の管理	その他	無回答
全	体	47	38.3	14.9	-	14.9	4.3	12.8	8.5	-	2.1	2. 1	6.4	42.6
, بدر	中学2年	33	27.3	18.2	-	12.1	-	9.1	3.0	-	3.0	-	9.1	48.5
学年	高校2年	14	64.3	7. 1	-	21.4	14.3	21.4	21.4	-	-	7. 1	-	28.6
·	無回答	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	男性	14	21.4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	21.4	57.1
.b4-	女性	32	46.9	21.9	-	21.9	6.3	18.8	12.5	-	3. 1	3. 1	-	34.4
性別	その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	答えない	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0
	無回答	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	ひとり親家庭	12	50.0	8.3	-	8.3	8.3	16.7	8.3	-	-	8.3	8.3	41.7
家	二世代世帯(ふたり親家庭)	22	27.3	22.7	-	13.6	-	9.1	-	-	-	-	-	50.0
家族構成	三世代以上の世帯	11	45.5	9.1	-	18.2	-	18.2	27.3	-	9.1	-	9.1	36.4
成	その他	2	50.0	-	-	50.0	50.0	-	-	-	-	-	50.0	_
	無回答	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

# 16. 世話を一緒にしている人

### 問15(4) お世話は誰と行っていますか。

家族の世話をしていると回答した人に、世話を一緒にしている人について聞いたところ、「母親」 (36.2%)、「父親」と「きょうだい」(23.4%)の順となっている。



図表-87 世話を一緒にしている人

図表-88 学年、性別、家族構成別 世話を一緒にしている人

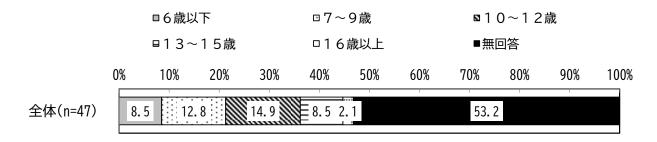
単位:% 祖父 親戚 自分の 父親 きょうだい 用ル福 パーなど)。個社サービス Ď が 人 査 他 答 数 3 た を 利へ 42.6 全 47 36.2 23.4 6.4 2.1 23.4 6.4 4.3 4.3 中学2年 33 39.4 27.3 6.1 24.2 3.0 45.5 14 14.3 7.1 7.1 14.3 14.3 35.7 高校2年 28.6 21.4 车 無回答 男性 14 14.3 7.1 7.1 14.3 57.1 女性 32 43.8 28.1 9.4 3.1 28.1 9.4 6.3 37.5 その他 答えない 100.0 100.0 100.0 無回答 ひとり親家庭 12 33.3 8.3 16.7 8.3 8.3 41.7 家族 22 二世代世帯(ふたり親家庭) 40.9 36.4 4.5 31.8 50.0 三世代以上の世帯 11 36.4 18.2 18.2 9.1 18.2 9.1 18.2 36.4 構 その他 50.0 50.0 無回答

# 17. 世話を始めた年齢

問15(5) お世話を始めたあなたの年齢をお答えください。(はっきりとわからない場合は、だい たいの年でかまいません)

家族の世話をしていると回答した人に、世話を始めた年齢について聞いたところ、「 $10\sim12$ 歳」(14.9%)、「 $7\sim9$ 歳」(12.8%)、「6歳以下」と「 $13\sim15$ 歳」(ともに8.5%)の順となっている。

図表 - 89 世話を始めた年齢



図表 90 学年、性別、家族構成別 世話を始めた年齢

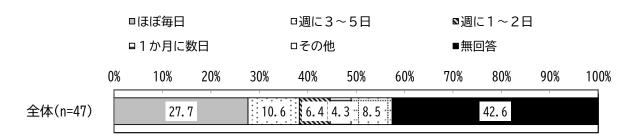
								単位:%
		調査数	6歳以下	7~9歳	10~12歳	13~15歳	16歳以上	無回答
全	体	47	8.5	12.8	14.9	8.5	2.1	53. 2
224	中学2年	33	9.1	12.1	18.2	6.1	ı	54.5
学年	高校2年	14	7. 1	14.3	7.1	14.3	7.1	50.0
'	無回答	-	I	1	1	-	I	_
	男性	14	7. 1	7.1	7.1	_	-	78.6
.144	女性	32	9.4	12.5	18.8	12.5	3.1	43.8
性 別	その他	-	1	1	1	_	1	_
///	答えない	1	1	100.0	1	_	1	_
	無回答	-	I	I	1	_	I	_
	ひとり親家庭	12	-	16.7	16.7	_	-	66.7
家	二世代世帯(ふたり親家庭)	22	9.1	18.2	13.6	9.1	-	50.0
家族構	三世代以上の世帯	11	18. 2	_	18.2	9.1	9.1	45.5
成	その他	2	-	_	-	50.0	-	50.0
	無回答	_	ı	_	_	_	ı	_

# 18. 世話をしている頻度

## 問15(6) どれくらいお世話をしていますか。

家族の世話をしていると回答した人に、世話をしている頻度について聞いたところ、「ほぼ毎日」 (27.7%)、「週に3~5日」(10.6%)、「その他」(8.5%) の順となっている。

図表-91 世話をしている頻度



図表-92 学年、性別、家族構成別 世話をしている頻度

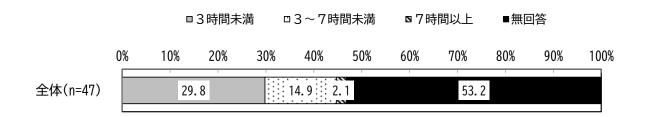
		調査数	ほぼ毎日	週に3~ 5日	週に1~2日	1か月に数日	その他	無回答
全	体	47	27.7	10.6	6.4	4.3	8.5	42.6
224	中学2年	33	27.3	6.1	6.1	3.0	12.1	45.5
学年	高校2年	14	28.6	21.4	7.1	7.1	1	35.7
'	無回答	_	I	I	I	_	1	_
	男性	14	7. 1	7.1	-	7.1	28.6	50.0
М	女性	32	34.4	12.5	9.4	3.1	1	40.6
性 別	その他	_	1	-	1	_	1	_
,,,,	答えない	1	100.0	-	1	_	1	_
	無回答	_	ı	ı	I	-	ı	_
	ひとり親家庭	12	25.0	16.7	-	_	8.3	50.0
家	二世代世帯(ふたり親家庭)	22	22.7	9.1	9.1	9.1	4.5	45.5
家族構成	三世代以上の世帯	11	36.4	9.1	9.1	_	9.1	36.4
成	その他	2	50.0	-	_	_	50.0	_
	無回答	_	_	_	-	_	_	_

# 19. 平日1日あたりの世話に費やす時間

問15(7) 平日に何時間程度お世話を行っていますか。日によって異なる場合は、この1ヶ月で最も長かった日の時間をお答えください。

家族の世話をしていると回答した人に、平日 1 日あたりの世話に費やす時間について聞いたところ、「3 時間未満」(29.8%)、「 $3\sim7$  時間未満」(14.9%)、「7 時間以上」(2.1%)の順となっている。

図表-93 平日1日あたりの世話に費やす時間



図表-94 学年、性別、家族構成別 平日1日あたりの世話に費やす時間 単位:%

		調査数	3 時間未満	3~7時間未満	7 時間以上	無回答
全	体	47	29.8	14.9	2.1	53.2
334	中学2年	33	33.3	9.1	3.0	54.5
学年	高校2年	14	21.4	28.6	_	50.0
	無回答	_	I	I	_	I
	男性	14	14.3	7. 1	-	78.6
.u.	女性	32	37.5	15.6	3.1	43.8
性 別	その他	_	-	1	_	1
///	答えない	1	1	100.0	_	1
	無回答	_	1	-	_	1
	ひとり親家庭	12	8.3	8.3	8.3	75.0
家	二世代世帯(ふたり親家庭)	22	45.5	4.5	-	50.0
家族構成	三世代以上の世帯	11	27.3	36.4	-	36.4
成	その他	2	-	50.0	-	50.0
	無回答	_	-	-	-	_

# 20. 世話をしているためにやりたいけれどできないこと

問16 お世話をしているために、やりたいけど、できていないことはありますか。

家族の世話をしていると回答した人に、世話をしているためにやりたいけれどできないことについて聞いたところ、「特にない」(46.8%)の割合が最も高くなっている。「特にない」を除くと、「自分の時間が取れない」(8.5%)、「友人と遊ぶことができない」(6.4%)の順となっている。

0.0% 20.0% 40.0% 60.0% 80.0% 100.0% 自分の時間が取れない 8.5 友人と遊ぶことができない 6.4 宿題をする時間や勉強 4.3 する時間が取れない 部活動や習い事ができない、 もしくはやめなければ 4.3 ならなかった 進路の変更を考えないと いけない、または進路を 変更した 4.3 睡眠が十分に取れない 2.1 学校に行きたくても行けない どうしても学校を遅刻・ 早退してしまう 学校の行事や活動に 参加できない □全体(n=47) その他 6.4 46.8 特にない 36.2 無回答

図表-95 世話をしているためにやりたいけれどできないこと

図表-96 学年、性別、家族構成別 世話をしているためにやりたいけれどできないこと

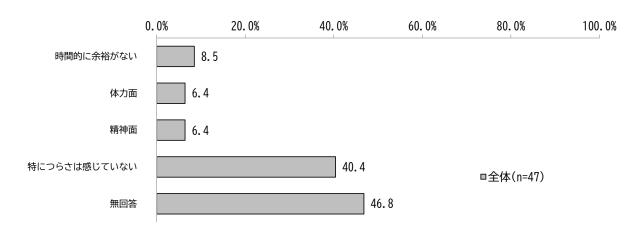
														<u> </u>
		調査数	けない学校に行きたくても行	刻・早退してしまうどうしても学校を遅	する時間が取れない宿題をする時間や勉強	加できない学校の行事や活動に参	睡眠が十分に取れない	ないとがぶことができ	ければならなかったない、もしくはやめな部活動や習い事ができ	路を変更したといけない、または進進路の変更を考えない	自分の時間が取れない	その他	特にない	無回答
全	体	47	-	_	4.3	_	2.1	6.4	4.3	4.3	8.5	6.4	46.8	36.2
224	中学2年	33	-	-	-	1	-	6.1	3.0	-	6.1	3.0	51.5	36.4
学年	高校2年	14	-	-	14.3	1	7. 1	7.1	7. 1	14.3	14.3	14.3	35.7	35.7
·	無回答	1	-	-	-	ı	-	-	-	-	-	-	-	-
	男性	14	-	-	-	-	-	-	-	-	7. 1	-	50.0	42.9
	女性	32	-	-	6.3	ı	3.1	9.4	6.3	6.3	9.4	9.4	43.8	34.4
性 別	その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	答えない	1	-	_	_	-	_	-	-	-	-	-	100.0	_
	無回答	_	-	_	_	-	_	-	_	_	-	-	_	-
	ひとり親家庭	12	-	_	8.3	_	8.3		-	8.3	8.3	-	41.7	41.7
家	二世代世帯(ふたり親家庭)	22	-	_	_	-	_	4.5	4.5	-	4.5	_	54.5	40.9
家族構造	三世代以上の世帯	11	-	_	_	-	-	9.1	-	-	9.1	18.2	36.4	27.3
成	その他	2	-	_	50.0	-	-	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	_
	無回答	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

# 21. 世話の大変さ

## 問17 お世話をするなかで何につらさ・ストレスを感じていますか。

家族の世話をしていると回答した人に、世話の大変さについて聞いたところ、「特につらさは感じていない」(40.4%)の割合が最も高く、次いで「時間的に余裕がない」(8.5%)となっている。

図表 - 97 世話の大変さ



図表-98 学年、性別、家族構成別 世話の大変さ

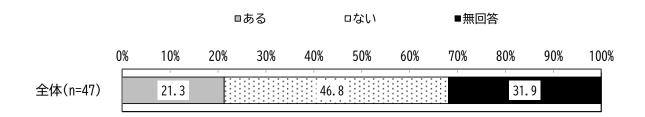
		調査数	体力面	精神面	い時間的に余裕がな	ていない特につらさは感じ	無回答
全	体	47	6.4	6.4	8.5	40.4	46.8
224	中学2年	33	3.0	-	3.0	45.5	51.5
学 年	高校2年	14	14.3	21.4	21.4	28.6	35.7
	無回答	-	-	1	1	-	-
	男性	14	-	-	_	28. 6	71.4
h4L	女性	32	9.4	9.4	12.5	43.8	37.5
性 別	その他	-	-	_	_	-	-
,,,,	答えない	1	-	1	1	100.0	-
	無回答	_	-	-	-	-	-
	ひとり親家庭	12	16.7	8.3	16.7	16.7	58.3
家	二世代世帯(ふたり親家庭)	22	-	-	-	50.0	50.0
家族構成	三世代以上の世帯	11	9.1	9.1	9.1	54. 5	27.3
成	その他	2	-	50.0	50.0	-	50.0
	無回答	_	-	_	-	-	_

# 22. 世話について相談した経験

問18 お世話をしている家族のことや、お世話の悩みを誰かに相談したことはありますか。

家族の世話をしていると回答した人に、世話について相談した経験について聞いたところ、「ある」が21.3%、「ない」が46.8%となっている。

図表-99 世話について相談した経験



図表-100 学年、性別、家族構成別 世話について相談した経験

					単位:%
		調査数	ある	ない	無回答
全	体	47	21.3	46.8	31.9
224	中学2年	33	15.2	54.5	30.3
学 年	高校2年	14	35.7	28.6	35.7
	無回答	_	_	-	-
	男性	14	28.6	28.6	42.9
M	女性	32	15.6	56.3	28.1
性 別	その他	_	-	-	-
/33	答えない	1	100.0	-	1
	無回答	_	_	-	-
	ひとり親家庭	12	16.7	41.7	41.7
家	二世代世帯(ふたり親家庭)	22	13.6	50.0	36.4
家族構	三世代以上の世帯	11	45.5	36.4	18. 2
成	その他	2	-	100.0	-
	無回答	_	_	_	1

# 23. 世話についての相談相手

## 問19 問18で「1.ある」と回答した人にお聞きします。悩みを相談した相手は誰ですか。

世話について相談した経験があると回答した人に、世話についての相談相手について聞いたところ、「家族」(50.0%)、「友人」(40.0%)、「学校の先生(保健室の先生以外)」(30.0%)の順となっている。

40.0% 0.0% 20.0% 60.0% 80.0% 100.0% 50.0 家族 40.0 友人 学校の先生(保健室の先生以外) 30.0 保健室の先生 20.0 10.0 親戚(おば、おじなど) スクールソーシャルワーカーや スクールカウンセラー 10.0 医師や看護師、その他病院の人 10.0 ヘルパーやケアマネ、 福祉サービスの人 市役所や保健センターの人 民生委員・児童委員の人 近所の人 □全体(n=10) SNS 上での知り合い その他 10.0 10.0 無回答

図表-101 世話についての相談相手

図表-102 学年、性別、家族構成別 世話についての相談相手

		調査数	家族	親戚(おば、おじなど)	友人	以外) 学校の先生 (保健室の先生	保健室の先生	ラー カー やスクールカウンセ スクールソーシャルワー	の人医師や看護師、その他病院	サービスの人へルパーやケアマネ、福祉	市役所や保健センターの人	民生委員・児童委員の人	近所の人	SNS上での知り合い	その他	無回答
全	体	10	50.0	10.0	40.0	30.0	20.0	10.0	10.0	-	-	-	-	-	10.0	10.0
224	中学2年	5	60.0	20.0	60.0	20.0	20.0	-	-	-	-	-	-	-	20.0	-
学年	高校2年	5	40.0	-	20.0	40.0	20.0	20.0	20.0	-	-	-	-	-	-	20.0
·	無回答	ı	-	1	-	-	-	-	1	-			-	-	-	-
	男性	4	50.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	25.0	25. 0
	女性	5	60.0	-	60.0	60.0	40.0	20.0	20.0	-	-	-	-	-	-	-
性別	その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
233	答えない	1	-	100.0	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	無回答	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	ひとり親家庭	2	-	-	50.0	100.0	50.0	50.0	50.0	-	-	-	-	-	-	-
家	二世代世帯(ふたり親家庭)	3	66.7	33.3	66.7	-	-	-	1	-	_	_	-	-	-	-
家族構成	三世代以上の世帯	5	60.0	-	20.0	20.0	20.0	-	-	_	-	-	-	-	20.0	20.0
成	その他		-	-	-	-	-	-	1	-	_	_	-	-	-	-
	無回答	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

# 24. 世話について相談していない理由

問20 問18で「2.ない」と回答した人にお聞きします。相談していない理由を教えてください。

世話について相談した経験がないと回答した人に、世話について相談していない理由について聞いたところ、「誰かに相談するほどの悩みではない」(54.5%)の割合が最も高く、次いで「家族以外の人に相談するような悩みではない」(18.2%)、「家族のことを知られたくない」と「相談しても状況が変わるとは思わない」(ともに9.1%)となっている。

0.0% 20.0% 40.0% 60.0% 80.0% 100.0% 誰かに相談するほどの 54.5 悩みではない 家族以外の人に相談する 18.2 ような悩みではない 家族のことを知られたくない 9.1 相談しても状況が 9.1 変わるとは思わない 誰に相談するのが よいかわからない 4.5 家族に対して偏見を 4.5 もたれたくない 相談したいが、家族から 他人に相談しないように 言われている 4.5 誰かに相談したいが、 相談できる人が身近にいない 誰かに相談したいが、 家族のことのため話しにくい □全体(n=22) 相談したいが、家族に対して 嫌な思いを持たれたくない 13.6 その他 13.6 無回答

図表-103 世話について相談していない理由

図表-104 学年、性別、家族構成別 世話について相談していない理由

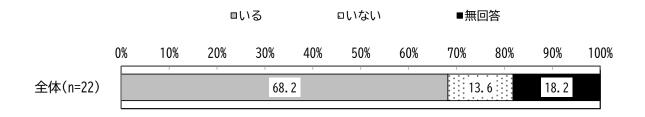
														半位・%
		調査数	ではない誰かに相談するほどの悩み	うな悩みではない家族以外の人に相談するよ	からない誰に相談するのがよいかわ	できる人が身近にいない誰かに相談したいが、相談	のことのため話しにくい誰かに相談したいが、家族	い家族のことを知られたくな	たくないたくないに対して偏見をもたれ	れている人に相談しないように言わ相談したいが、家族から他	い で嫌な思いを持たれたくな相談したいが、家族に対し	は思わない相談しても状況が変わると	その他	無回始
全	体	22	54.5	18. 2	4.5	-	-	9.1	4.5	4.5	-	9.1	13. 6	13.6
***	中学2年	18	55.6	11.1	5.6	-	-	5.6	-	5.6	-	5.6	11.1	16.7
学年	高校2年	4	50.0	50.0	-	-	-	25.0	25. 0	-	-	25.0	25. 0	-
'	無回答	-	-	-	-	-	-	-	_	-	-	-	-	-
	男性	4	-	25.0	-	-	-	-	-	-	-	-	50.0	25.0
	女性	18	66.7	16.7	5.6	-	-	11.1	5. 6	5.6	-	11.1	5. 6	11.1
性別	その他	-	-	-	-	-	-	-	_	-	-	-	-	-
733	答えない	-	-	-	-	-	-	-	_	-	-	-	-	-
	無回答	_	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	ひとり親家庭	5	40.0	20.0	_	_	-	20.0	-	20.0	_	20.0	20.0	20.0
家	二世代世帯(ふたり親家庭)	11	63.6	9.1	9.1	ı	1	_	-	-	-	-	-	18. 2
家族構成	三世代以上の世帯	4	75.0	50.0		_	_	25.0	25.0	-		25.0	_	
成	その他	2	1		-	ı		-	-	-	-	-	100.0	_
	無回答		-			-		-	-	-	_	-	-	-

# 25. 世話について話を聞いてくれる人の有無

問21 問28で「2.ない」と回答した人にお聞きします。お世話を必要としている家族のことや、お話の悩みを聞いてくれる人はいますか。

世話について相談した経験がないと回答した人に、世話について話を聞いてくれる人の有無について聞いたところ、「いる」が68.2%、「いない」が13.6%となっている。

図表-105 世話について話を聞いてくれる人の有無



図表-106 学年、性別、家族構成別 世話について話を聞いてくれる人の有無 単位:%

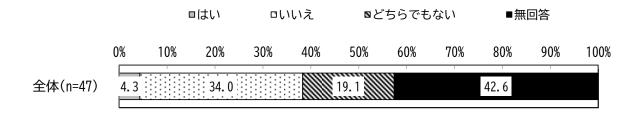
		調 查 数	る	い な い	無回答
全	体	22	68. 2	13.6	18.2
334	中学2年	18	72. 2	11.1	16.7
学年	高校2年	4	50.0	25.0	25.0
	無回答	-	-	_	I
	男性	4	50.0	25.0	25.0
М	女性	18	72.2	11.1	16.7
性別	その他	-	_	-	ı
/55	答えない	-	-	-	I
	無回答	-	-	-	I
	ひとり親家庭	5	20.0	40.0	40.0
家	二世代世帯(ふたり親家庭)	11	81.8	9.1	9.1
家族構成	三世代以上の世帯	4	75.0	-	25.0
成	その他	2	100.0	_	_
	無回答	_		-	

# 26. 家族の世話をしている人同士で話をしたいか

問22 あなたは家族のお世話をしている者同士で話してみたいですか。 (オンラインサロンなど)

家族の世話をしていると回答した人に、家族の世話をしている人同士で話をしたいかについて聞いたところ、「はい」が4.3%、「いいえ」が34.0%、「どちらでもない」が19.1%となっている。

図表-107 家族の世話をしている人同士で話をしたいか



図表-108 学年、性別、家族構成別 家族の世話をしている人同士で話をしたいか 単位:%

		調査数	はい	いいえ	どちらでもない	無回答
全	体	47	4.3	34.0	19.1	42.6
334	中学2年	33	3.0	30.3	21.2	45.5
学年	高校2年	14	7.1	42.9	14.3	35.7
	無回答	-	1	I	1	_
	男性	14	7. 1	14.3	21.4	57.1
W	女性	32	3.1	43.8	15.6	37.5
性 別	その他	-	1	1	1	-
///	答えない	1	1	1	100.0	-
	無回答	-	-	-	-	_
	ひとり親家庭	12	8.3	25.0	16.7	50.0
家	二世代世帯(ふたり親家庭)	22	-	27.3	22.7	50.0
家族構成	三世代以上の世帯	11	9.1	54.5	9.1	27.3
成	その他	2	-	50.0	50.0	-
	無回答	_	_	-	_	_

# 27. 学校や大人にしてもらいたいこと

#### 問23 学校や周りの大人に助けてほしいことや、必要としている支援はありますか。

家族の世話をしていると回答した人に、学校や大人にしてもらいたいことについて聞いたところ、「特にない」(42.6%)の割合が最も高くなっている。「特にない」を除くと、「学校の勉強や受験勉強など学習をサポートしてほしい」(10.6%)、「進路や就職など将来の相談にのってほしい」(8.5%)の順となっている。

0.0% 20.0% 40.0% 60.0% 80.0% 100.0% 学校の勉強や受験勉強など 学習をサポートしてほしい 10.6 進路や就職など将来の 8.5 相談にのってほしい 自分のいまの状況について 4.3 話を聞いてほしい 家族のお世話について 4.3 相談にのってほしい お世話のすべてを代わって くれる人やサービスがほしい 4.3 4.3 自由に使える時間がほしい 収入が少ないので経済的な援助 4.3 (サポート) をしてほしい 家族の病気や障害、ケアのこと 2.1 などについて説明してほしい 適切な治療や介護保険サービスの 2.1 手続きをしてほしい お世話の一部を代わって くれる人やサービスがほしい 自分と同じような状況の人と 話をして悩みを共有する 場がほしい □全体(n=47) 2.1 その他 42.6 特にない わからない 10.6 27.7 無回答

図表-109 学校や大人にしてもらいたいこと

図表-110 学年、性別、家族構成別 学校や大人にしてもらいたいこと

		調査数	話を聞いてほしい自分のいまの状況について	にのってほしい家族のお世話について相談	いくれる人やサービスがほしお世話のすべてを代わって	れる人やサービスがほしいお世話の一部を代わってく	ほしい ことなどについて説明して家族の病気や障害、ケアの	ビスの手続きをしてほしい適切な治療や介護保険サー	自由に使える時間がほしい	にのってほしい進路や就職など将来の相談	場がほしい と話をして悩みを共有する 自分と同じような状況の人	学習をサポートしてほしい学校の勉強や受験勉強など	しい (サポート) をしてほ 収入が少ないので経済的な	その他	特にない	わからない	無回答
全	体	47	4.3	4.3	4.3	-	2.1	2.1	4.3	8.5	-	10.6	4.3	2.1	42.6	10.6	27.7
334	中学2年	33	3.0	3.0	3.0	-	-	-	-	6.1	-	12.1	-	3.0	42. 4	9.1	33.3
学年	高校2年	14	7.1	7. 1	7.1	-	7. 1	7. 1	14.3	14.3	-	7.1	14.3	-	42.9	14.3	14.3
	無回答	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	男性	14	7.1	-	-	-	-	-	-	7.1	-	7.1	-	7.1	14.3	21.4	50.0
	女性	32	3.1	6.3	6.3	-	3.1	3.1	6.3	9.4	-	12.5	6.3	-	53.1	6.3	18.8
性別	その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
233	答えない	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-	-
	無回答	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	ひとり親家庭	12	8.3	16.7	16.7	-	8.3	8.3	16.7	16.7	-	8.3	16.7	-	25.0	16.7	25.0
家	二世代世帯(ふたり親家庭)	22	-	-	-	-	-	-	-	4.5	-	13.6	-	4.5	45.5	4.5	31.8
家族構成	三世代以上の世帯	11	9.1	-	-	-	-	-	-	9.1	-	9.1	-	-	54.5	9.1	27.3
成	その他	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	50.0	50.0	-
	無回答	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

# 28. 希望する相談方法

問24 問23で「1.自分のいまの状況について話を聞いてほしい」または「2.家族のお世話について相談にのってほしい」と答えた人にお聞きします。どのような方法で話を聞いたり相談にのったりしてほしいですか。

前問で「自分のいまの状況について話を聞いてほしい」、「家族のお世話について相談にのってほしい」と回答した人に、希望する相談方法について聞いたところ、「直接会って」と「電子メール」(ともに66.7%)の割合が最も高くなっている。

0.0% 20.0% 40.0% 60.0% 80.0% 100.0% 直接会って 66.7 電子メール 66.7 電話 33.3 SNS 33.3 その他 □全体(n=3) 無回答

図表-111 希望する相談方法

図表-112 学年、性別 希望する相談方法

単位:% |接会っ N S 子メー の 話 回 查数 他 答 て ル 体 3 66.7 33.3 33.3 66.7 中学2年 50.0 50.0 50.0 高校2年 100.0 100.0 100.0 無回答 男性 100.0 100.0 2 女性 50.0 50.0 100.0 性 その他 答えない 無回答

# 29. 知っている相談窓口

問25 あなたは、家族のお世話をしている子どもが悩みを相談できる以下の相談窓口を知っていますか。

知っている相談窓口について聞いたところ、「学校(担任の先生や保健室の先生)」(53.1%)、「知らない」(30.1%)、「結らいん」(27.0%)の順となっている。

0.0% 20.0% 40.0% 60.0% 80.0% 100.0% 学校(担任の先生や 保健室の先生) 53.1 27.0 結らいん 24時間子ども SOSダイヤル 26.0 児童相談所相談専用ダイヤル 19.7 久留米市ヤングケアラー 13.5 相談・支援窓口 □全体(n=858) 知らない 30.1 無回答 7.2

図表-113 知っている相談窓口

知っている相談窓口について学年別にみると、「知らない」の割合は高校2年生(34.2%)の方が高くなっている。一方で、高校2年生では「児童相談所相談専用ダイヤル」(25.2%)の割合も高くなっている。

性別にみると、男性の方が「知らない」(35.5%)の割合が高くなっている。一方で女性では「知らない」を除くすべての項目において男性よりも割合が高くなっている。

家族構成別にみると、ひとり親家庭では「知らない」(35.7%)の割合が高くなっている。また、 三世代以上の世帯では「学校(担任の先生や保健室の先生)」(61.6%)の割合が高くなっている。 家族の世話別にみると、家族の世話をしていない人の方が「久留米市ヤングケアラー相談・支援 窓口」を除くすべての項目において家族の世話をしている人よりも割合が高くなっている。

図表-114 学年、性別、家族構成、家族の世話別 知っている相談窓口

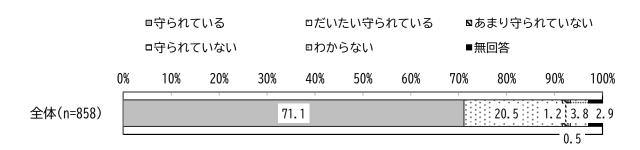
		調査数	の先生)の先生や保健室学校(担任の先生や保健室	談・支援窓口外留米市ヤングケアラー相	結らいん	ヤル24時間子どもSOSダイ	ル児童相談所相談専用ダイヤ	知らない	無回答
全	体	858	53.1	13.5	27.0	26.0	19.7	30.1	7.2
224	中学2年	524	53.8	13.9	27.5	26. 7	16.2	27.5	9.4
学年	高校2年	333	52.0	12.9	26.4	24. 9	25.2	34. 2	3.9
	無回答	1	100.0	-	-	-	-	_	-
	男性	341	45.7	11. 7	19.9	22.9	16.7	35.5	8. 2
. <del>\/</del>	女性	493	58.4	14. 6	31.2	27. 6	21.9	26.6	6.3
性 別	その他	4	50.0	-	25.0	50.0	25.0	25.0	25.0
	答えない	16	50.0	18.8	56.3	43.8	18.8	25.0	6.3
	無回答	4	50.0	25.0	-	-	-	25.0	25.0
	ひとり親家庭	129	51.9	14. 7	25. 6	23.3	23.3	35.7	4. 7
家佐	二世代世帯(ふたり親家庭)	539	51.4	12.6	28.0	26.9	18.9	30.6	7. 1
家族構成	三世代以上の世帯	172	61.6	16.3	26.7	25. 6	18.6	22.7	8.7
成	その他	12	33.3	8.3	8.3	25.0	25.0	58.3	8.3
	無回答	6	33.3	-	16.7	16.7	33.3	16.7	33.3
#家	している	47	42.6	17. 0	17.0	14. 9	14.9	17.0	34.0
世家 話の	していない	798	54.1	13.4	27.9	26. 7	20.1	31.1	5.0
()	無回答	13	30.8	7. 7	7. 7	23. 1	15.4	15.4	46.2

# 30. 自身の権利が守られていると思うか

問26 子どもの権利についての文章を読んでお答えください。あなたは、自分の権利が守られていると思いますか。

自身の権利が守られていると思うかについて聞いたところ、「守られている」(71.1%)の割合が最も高く、次いで「だいたい守られている」(20.5%)となっている。

図表-115 自身の権利が守られていると思うか



自身の権利が守られていると思うかについて学年別にみると、「守られている」の割合は中学2年生(73.9%)の方が高く、高校2年生は「だいたい守られている」(24.3%)の割合が高くなっている。

性別にみると、「守られている」の割合は女性(72.6%)の方が高く、男性は「だいたい守られている」(22.0%)の割合が高くなっている。

居住地別にみると、「守られている」の割合は中央(77.1%)、西部(74.0%)、北部(72.9%)で高くなっている。一方で、東部、南部では「守られている」の割合が低くなっている。

家族構成別にみると、ひとり親家庭において「守られている」(65.9%)の割合が低くなっている。

家族の世話別にみると、家族の世話をしている人の方が「守られている」(61.7%)の割合が低くなっている。

図表-116 学年、性別、居住地、家族構成、家族の世話別 自身の権利が守られていると思うか

		調查数	守られている	だいたい守られている	あまり守られていない	守られていない	わからない	無回答
全	体	858	71. 1	20.5	1.2	0.5	3.8	2.9
224	中学2年	524	73.9	18.1	0.6	_	3.8	3.6
学 年	高校2年	333	66.7	24.3	2.1	1.2	3.9	1.8
	無回答	1	100.0	-	-	_	-	_
	男性	341	68.9	22.0	1.2	_	4.7	3. 2
.N-L	女性	493	72.6	19.9	1.2	0.8	3.0	2.4
性 別	その他	4	75.0	-	-	_	25.0	_
133	答えない	16	68.8	12.5	-	_	6.3	12.5
	無回答	4	75.0	25.0	-	_	-	_
	東部	111	64.9	25.2	1.8	0.9	6.3	0.9
	西部	127	74.0	19.7	-	0.8	3.1	2.4
居	南部	165	66.7	22.4	1.8	_	6.1	3.0
居 住 地	北部	129	72.9	17.8	1.6	_	3.1	4. 7
地	中央	192	77.1	16.1	0.5	0.5	2.6	3. 1
	その他 (久留米市外など)	116	70.7	24. 1	1.7	0.9	1.7	0.9
	無回答	18	55.6	22.2	-	-	5.6	16.7
	ひとり親家庭	129	65.9	20.9	1.6	0.8	5.4	5.4
家	二世代世帯(ふたり親家庭)	539	72.5	19.9	1.1	0.4	3.7	2.4
家族構成	三世代以上の世帯	172	70.3	23.3	0.6	0.6	2.9	2.3
成	その他	12	75.0	8.3	8.3	_	8.3	_
	無回答	6	66.7	16.7	_	_	_	16.7
业家	している	47	61.7	19.1	-	-	2.1	17.0
世 話 の	していない	798	71.8	20.7	1.3	0.5	4.0	1.8
()	無回答	13	61.5	15.4	-	-	_	23. 1

# 31. 自由意見

問27 家族のお世話をしている子どものために、必要だと思うことや、こうしてほしいと思うこと、他にも困っていることがあれば自由に書いてください。

家族の世話をしている子どものために必要だと思うことや学校や周りの大人にしてもらいたい ことについての自由記述は以下のとおり。

## 図表-117 自由意見

※全回答ではなく、一部回答を抜粋して掲載 ※原文掲載を基本としつつ、一部編集の上掲載

小原大的戦と至	+		州木リノエルリの甲
家族の世話をしている子どものために必要だと思うこと	学年	性別	家族の世話
自分の為の時間を作ること。適度な距離をとること。	高校2年	女性	している
力になる人がいることをもっと知らせてあげてほしい テレビを見れない、スマ			
木をもっていない子は情報はどこから取るのだろう?と思います たとえば障			
がい手帳など登ろくのある家にどんな家族がいて、そしてもしもそこに子どもが	中学2年	女性	していない
いる場合、行政から面会等してみても良いのではないでしょうか?していたらす			
いません。			
家族のお世話にとらわれず、自分らしく自由に育つことが大切だと思う。そのた			
めに、お金をはらわず、無償でサポートをしてくれる方々がいてくれるとよいと	中学2年	女性	していない
思う。			
家族のお世話をしている全員がだれかに相談していくことが大事だと思います。			
誰かに話すことで自分へのストレスが軽減されることもあるだろうし、新しい、			
第三者としての見方が分かり、悩むことも少なくなると思うからです。もしでき	中学2年	女性	していない
るのであれば家族のお世話をしている人達全員に支援がいきわたったらいいな			
と思います。			
家族のお世話をして、自分の時間がとれない子どももいると思うので、安くかじ	中学2年	女性	していない
などを手伝ってくれる団たいをつくってほしいです。	11.7.2.4	XII.	0 (0.80.
足りないものがあったらしっかり補えるように対応してほしいです。子どもだけ			
では出来ないことが世の中にはたくさんあるから。各市町村での情報、状況確認	中学2年	女性	していない
をしてほしいです。			
色々事情はあるかもだけど一理にお金に困って家族のお世話をしている人もい			
ると思うからそういう人に給付金をあげてほしい。	中学2年	女性	していない
こういうアンケートを定期的にとって生徒の家族との関係を知っておいてほし	11.7.2.4		0 0 0 0 0 0 0
U\°			
24 時間受付可能な LINE 相談窓口	中学2年	女性	していない
将来生きていくのにはある程度の学力や知識が必要だと思うので、もし自分の家			
族のお世話で勉強をする時間がなかったりするのなら悩んでいる子供を 1 人で	中学2年	女性	していない
抱え込ませない、居場所を作る事が必要だと思う。			

家族の世話をしている子どものために必要だと思うこと	学年	性別	家族の世話
お世話する人(家政婦、介護士)の無料(有料でもいいかも)派遣。介護センターに入ったりする時やその後の費用を、無償にする。と言って介護センターなどに、入ることを推薦するチラシみたいなものを家のポスターに入れておく。	中学2年	男性	していない
子どもたちに、補助システムをつける。お金を支給する。お金を払わなくてもいい、ヘルパーさんを家に呼べる環境にしてほしい。絶対学校でいわないでほしい。	中学2年	男性	していない
相談しやすい環境をつくって、どこに相談すればいいかなどを教える。	中学2年	男性	していない
ヤングケアラーとまでは言えないが、ひとり親家庭で経済的に厳しく、家事の手伝いをする時間がある(一般の家庭より、手伝いの負担が大きいなど)家庭についてもヤングケアラーと似た状況が起こっている。発達障害のため人との関わりに困難を抱えているため、家では落ち着いて過ごしたいため、家庭内への人的支援よりも家事を効率的にできるよう経済的な支援が必要。例:食器洗浄器、ドラム式先濯乾燥機購入費(それに必要な工事費修理費等含む)	中学2年	男性	していない
ヤングケアラーのストレス軽減と生活支援を市または県、国が推進する必要があると強く感じる。	中学2年	男性	していない
家庭の状況を調査する団体が必要だと思う。	高校2年	女性	していない
家事や家族の世話をしてくれるヘルパーさんの派遣が必要だと思います。特に、本で、現在のヘルパーさんの中には、介護を受けている人の分の洗濯物しかしない、食事しか作らない人がいる、というのを見たので、その子のお世話や他の家族(兄弟姉妹)の世話などもしてくれるヘルパーさんが必要だと思います。その子が金銭的な問題からヘルパーさんが利用できない、ということにならないようにできるだけ低価格、もしくは無償で利用できるようにすると、もっと助かるのかな、と思いました。	高校2年	女性	していない
デイサービスや訪問介護の時間が働いている家族の実態とあっていない。9 時半 以降から利用が出来ないところばかりで仕事をしている人が 8 時に出たとした ら利用までの間の時間を働いてない子供が見るしかない。	高校2年	女性	していない
実際に現場で手伝ってくれる制度があることを知れるような環境を作ること	高校2年	女性	していない
施設などだけでなく身近にいる人たちともっと交流ができ助け合うことが出来 る環境にするべき	高校2年	女性	していない
そう言った子供たちが家以外で過ごせる場所を増やすべき	高校2年	男性	していない
家族の世話をしてるということはお金があまりないと考えられるので、一般的な生活用品が良いと思う。また、学校に行くこともあまりできてない場合は教材が必要だと思う。 解説動画とかが付いてたらなお良い。 (自分達で作った解説動画でもよいかも)	高校2年	男性	していない

学校や周りの大人にしてもらいたいこと	学年	性別	家族の世話
「まわりの友達はいいなあー」と思っていると思うので、もしかしたら死にたいと思っている子もいるかもしれません。学校の先生がその子にたくさん声をかけてほしいです。家庭訪問をしたりして、その子を「1人じゃないから何でも言ってね」とたくさん声を掛けてほしいです。本当はやりたいことをやれずにガマンしているかもしれません。心を開く手伝いをしてあげてほしいです。	中学2年	女性	していない
定期的な学校の先生や、悩みを聞いてくれる方と会話することが必要だと思う。	中学2年	女性	していない
学校に家族のお世話をして来ることができていない子、遅刻、早退してしまう子を把握することが必要。そのために、先生が家に訪問したり、遅刻、早退の理由を聞くことが大切だと思う。そしてヤングケアラーの子がいたら、先生から市に相談したり報告したりして、対しょしていくことが大切だと思う。きっと、悩みが大きければ大きいほど相談できなかったり、相談窓口の番号を受話器に入れることはできないと思う。だから、自分達で知り、行動することが必要だと思う。	中学2年	女性	していない
その子が学校を休むなら、学校の先生が家などを訪ねて、気づいてあげるべきだと思う。「こうしてほしい」の所は、その子の信頼できる先生であってほしいです。最近の悩みは、友達が全然学校に来なくなって、LINEとかもしてるけど、きどく無視で、先生には、送ってあげてと言われるけど、正直どうしたらいいのか分かりません。	中学2年	女性	していない
相談窓口があることを分かるようにするために、今以上に手紙などで知らせる。 学校で、それらについての授業・講義などを行う。	中学2年	男性	していない
子どもに負担がかかって、睡眠不足等にならないためにも親戚の人などが一緒に 助け合うことが必要だと思います。	高校2年	女性	していない
学校側の配慮が必要だと思う	高校2年	女性	していない
地域包括支援センターにもっと実態を知って欲しい。	高校2年	男性	していない
地域包括支援センターにもっと実態を知って欲しい。 自身の気持ちや困っている状況について	高校2年 学年	男性 性別	していない 家族の世話
自身の気持ちや困っている状況について家族の世話をすることは将来の自分の生活に役に立つと思うのでいいと思う自分の家族がみんな生きていくための家事や、その他諸々だと思うのでいいと思う。家族のお世話"という言葉が少し引っかかった別に私は家事をしているだけで世話をしているわけではないので微妙だったこの世には、私より"家族のお世話"で時間を取られていたり、精神的に苦しんでいたりしている方々がたくさんいらっしゃるので、私ごときで文句を言ったり被害者面したりしてはいけないんだと思っていて、今回のアンケートでなおさらそのことを強く思った文句を言うのは家族やこの世にいるヤングケアラーに失礼だろうと思うので、気を引き締めて取り組んでいきたい確かに、自分の家庭についての悩みや苦しみなどを人に話したいと思うことは多いが、真面目に聞いてくれる人は少ないのが現状だただ、そういう話を人に話したいと言うのは最早自分がこれだけ頑張っている、苦しんでいる、ということを人に示して自己満足したいだけ、のような気がして	学年	性別	家族の世話
自身の気持ちや困っている状況について 家族の世話をすることは将来の自分の生活に役に立つと思うのでいいと思う自分の家族がみんな生きていくための家事や、その他諸々だと思うのでいいと思う "家族のお世話"という言葉が少し引っかかった 別に私は家事をしているだけで世話をしているわけではないので微妙だったこの世には、私より"家族のお世話"で時間を取られていたり、精神的に苦しんでいたりしている方々がたくさんいらっしゃるので、私ごときで文句を言ったり被害者面したりしてはいけないんだと思っていて、今回のアンケートでなおさらそのことを強く思った 文句を言うのは家族やこの世にいるヤングケアラーに失礼だろうと思うので、気を引き締めて取り組んでいきたい確かに、自分の家庭についての悩みや苦しみなどを人に話したいと思うことは多いが、真面目に聞いてくれる人は少ないのが現状だただ、そういう話を人に話したいと言うのは最早自分がこれだけ頑張っている、苦しんでいる、ということを人に示して自己満足したいだけ、のような気がして申し訳なく思う	高校2年	女性	家族の世話